



掛合中だより

令和6年度 7月号
雲南市立掛合中学校
2024. 7. 19 発行
文責 難波 順子



学校教育目標

ふるさとを愛し 自他を大切にしながら たくましく未来を切り拓く生徒の育成

<https://shimane-school.net/unnan/kakeya-chu/>

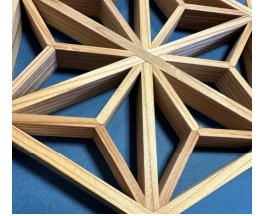


「ものづくり」から見えてくるもの

1学期は、技術や地域探究学習の時間に、ものづくりの活動を多く行いました。

「ものを作る」という過程は、素材の良さや特徴を手で感じることができ、工法を学ぶことは、作り手の工夫や費やす時間を追体験することでもあります。

技術の時間に、組木細工で有名な舟木 清様をお招きしました。自然の恵みに感謝し、作るものによって使う木を選んでいくお話や、釘を一切使わずに寸分違わず削った木片をはめていく作業から、高度な技術や力学の知識など、その奥深さに感銘を受けました。その作品の美しさは、日本の宝であることは間違いありません。



今の時代は、便利な既製品で溢れています。そんな中で、木材から木の皿を作る3年生の体験は、貴重なものでした。木材を電気で回転させながら、少しずつ形を整え、削っていく作業を行いました。木の粉を巻き上げながら一心に行っていた生徒に、「楽しいですか?」と聞くと、「楽しいです!」と即答が返ってきました。やってみなければ、その楽しさはわからなかったことでしょう。多くの生徒が、1学期心に残ったこととして、木のお皿づくりをあげていました。ものづくりをとおして指導者の方との交流もありました。



余った布で釜敷を作る2年生の体験。人が布として作ったものを、再び人の手によって全く違うものとして再生される工程は、人から人へ、知恵と工夫の伝達とも言えます。



協力してベンチ作り

たくさんの木々に囲まれている掛合町。1年生と3年生は、飯石森林組合、掛合町建築組合の方にお世話になり、木材から人が座るしっかりとしたベンチを作りました。工程をとおして、何気なく使っている家具や道具も、自然のものを活用して、誰かの手で作られたものであると実感できれば、ものを大切にする気持ちも更に湧くでしょう。

2年生は先日、協栄金属工業株式会社にお邪魔し、社長の小山様からお話を聞きました。変幻自在に変えられ、強度もある金属を使い、人の役に立つものを作っておられること、その数5,000種類以上。多くの時間が費やされ、試行錯誤されながら世に出ていったことに敬意の気持ちが生まれます。

講師の方のお話や、生徒たちの作業を見ていると、人ともとの関係は、「時間」や「思い」、「工夫」が通い合い、作る楽しさ、できた時の嬉しさ、美しさを感じる感性を養うものであり、それは人にしか味わえない感覚であると改めて思います。実際に体験した生徒たちの中にも多くの気づきや感情が芽生えたことと思います。掛合や雲南市にある貴重な素材、人材をどう活かし伝えていくのか、生徒たちの取組を今後も楽しみにしたいと思います。ご指導いただいた皆様、大変ありがとうございました。



協栄金属にて



リサイクル釜敷き



SDGsへの試み
コンポスト作り(2年)

◆「キャリア教育講演会」中嶋洋一先生をお迎えして『大切な自分を好きになるために』

非認知スキルを磨こう

同情ではなく、共感を

「不可能」の反対は、「挑戦」

Aアクション（行動を起こす）=MVP
Mission Vision Passion

人生に「失敗」はありません。
あるのは「経験」だけです。

本気ですれば
何でもおもしろい

※非認知スキル：思いやり、やり抜く力、協調性、自制心、意欲、
勤勉性、自尊心など



7月5日（金）本校教諭の紹介で、英語”ワクワク授業”研究所代表中嶋洋一氏（元小中学校教諭・関西外国語大学教授）をお迎えし、「キャリア教育講演会」を行いました。県内の小中高の先生方や、企業の方など約30名来校され、講演会後には英語科指導力向上研修会が行われました。生徒たちは、中嶋先生の熱い語り口と、印象深い言葉の数々に引き込まれ、周りや先生と対話しながら、これからの生き方についてしっかりと考える機会となりました。貴重な時間をありがとうございました。

◆みんなで仲良くふれあい大作戦！～輝かせよう自分たちの町を～

6月14日（金）長年続いた「ごみゼロ大作戦」から交流を大切にした通称「みなふれ大作戦」に変更し、5地区で交流活動を行いました。当日は、地域の方と保小中の子どもたちが参加しました。自己紹介も兼ねてアイスブレイクをした後、各地区で、奉仕活動や地域の方とのミニゲーム、地区内の事業所等に配るプランターへの

入間地区（八重滝）



のひまわりの種と苗植え、交流センターの活用についての意見交換など、様々に行われました。この様子は市報にも紹介されます。

中学生も各地区で、司会進行やゲームなどのリードを頑張りました。これからも、地域の方や子どもたちの交流から、ふるさとの良さを感じ、優しさの輪が広がることを期待しています。地域の皆さまのご協力に大変感謝申し上げます。

松笠地区（交流センター）



波多地区（交流センター）



掛合地区（中学校）



多根地区（交流センター）



◆少年の主張 校内弁論大会を行いました

7月17日（水）文化委員の進行で、校内弁論大会を行いました。当日は審査員として、3名の中学校評価委員の方にもご来校いただきました。それぞれに身近なことから自分を見つめ、堂々と意見を発表しました。

最優秀賞：1年生1名（学校代表として市大会へ出場）

優秀賞：1年 3年 各1名



優良賞：
2年生 2名
3年生 1名

◆夏休みに入ります

1学期間、保護者・地域の皆様大変お世話になりました。夏休みに入りますが、部活動の大きな大会、学習、オープンスクール、各活動の練習など、それぞれに励む夏となります。

家庭での手伝いや、読書など、メディアから離れたゆつたりとした時間も是非見つけてほしいと思います。休み中も、安心安全で、充実したものになりますよう、応援・見守りをどうぞよろしくお願いいたします。

1年生朝読書風景

